

2025 第2回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【英語】

今回は、夏休み後の学習の習熟度を試す問題です。ジャンル、形式の異なる長文3題と客観文法問題4題で、総合力を問う出題になっています。

1 長文読解問題1 (物語文)

ある少女がいつもクラスの人々と仲良くしたいと思い、どの子にでも気さくに接するが故に、かえって真の友人を得ることができないという少女の葛藤する心理と、そんな少女に対する母親の貴重な助言などを書いた物語文です。**問2**の不定詞の用法識別は、不定詞を学習する上で、大変重要な問題です。できなかった人は不定詞の三用法の識別がしっかりと理解できるようにしましょう。**問5**の和訳は、不定詞の名詞的用法を含む **tried(try) to** ～「～しようとした」の訳し方がポイントになります。**問7**の文の意味選択は、否定文の中に **every** のついた語がある場合は部分否定で訳すことがポイントです。部分否定とは「すべてが～というわけではない [～であるものもあれば、～でないものもある] 」という意味で、全部 [完全] 否定の「まったく [1つも] ～ない」とは意味が異なるので注意しましょう。**問9**の適語補充は、動詞が **made [make]** で、**m** で始まる8文字の語(名詞)ということから、**mistakes** が空所8に入りますが、**make a mistake [mistakes]** を思いついても、答えの判断が難しかったことと思います。

2 長文読解問題2 (説明文)

the butterfly effect 「バタフライ効果」に関する文です。「バタフライ効果」とは、蝶の羽ばたきのような小さなことがきっかけとなって、それが大きな効果へと発展していくことですが、本文ではドミノ倒しからくる「ドミノ効果」と比較して考察しています。**問5**の適語句補充は、「(夢などが)叶う、実現する」は **come true** ですが、本問は主語が三人称単数の現在形なので、**comes** と三単現の **s** のついた形にします。**問6**の整序英作文はなかなかの難問です。主語の **One way** の後に形容詞的用法の不定詞 **to play** がくると、**dominoes** の後に述語動詞 **is** がきて、その後は名詞的用法の不定詞 **to set** がくる点に注意して並べ替えます。**問7**の語句抜き出しは、対話文の直前の **Both** で始まる文に着目することがポイントになります。解答は **chain reactions** 「連鎖反応」と複数形になりますが、本文中からそっくりそのまま抜き出す問題なので、単数形の **chain reaction** は不可になります。

3 長文読解問題3 (適語(句)選択)

空所1と空所5に入る語は、文脈から適切な語(句)を判断する必要があります。空所1はアの「外を見ている」とイの「時間をつぶしている」で迷うところですが、その前に「紙ナプキンに絵を描いていた」とあるので、「時間つぶしに絵を描いていた」と判断して答えを選びます。空所5に入る語(句)は本文の最後の文中にある「長年の修練と努力」とほぼ同じ内容である、ウの「(これまでの)人生」を選びます。

4 適語選択問題 (動詞の語形変化)

ポイントは各英文の空所 a, 空所 b には同じ動詞が入るということです。まず、最も適切な動詞を選び、各英文にふさわしい動詞の形を考えます。5問のうちで間違えやすいのは2と3だと思います。2はbe動詞が入るのは、おおよその見当がつくかと思いますが、空所 a を were あるいは are にする間違いが多かったかと思われます。後にくる snow「雪」が単数扱いの不可算名詞（「たくさんの」があっても不可算名詞に変わりはありません。）であることを認識する必要があります。また、空所 b の to be もなかなか思いつかなかったかと思われます。3は lie「横たわる」を選んでも、空所 a に lying, 空所 b に lay と書けた受験者は多くなかったように思われます

5 同音異義語問題

同音異義語（発音が同じで、つづりと意味が異なる語）問題は、駿台テストの英語の問題の中で、全学年を通して正解率の低い問題の1つであると言えます。近年の高校入試問題でもよく出題されるので、対策をしておいても無駄ではないと思われます。3と4が2つとも正解であった受験者は少なかったようです。さらには、3の空所 b の flour「小麦粉」、4の空所 b の new (be new to ～で、「～が(初めての土地で)不案内の」)は正解率が低かったです。

6 整序英作文問題

4問中、これといった難問はなかったかと思われます。3以外は不定詞を含む文になります。1は目的を表す副詞的用法、2は形容詞的用法で、前置詞 with の位置がポイントになります。4は述語部分の名詞的用法です。3は must not ～「～してはいけない」を含む文になりますが、mustn't と短縮形で書いた解答も可としています。make fun of ～「～をからかう」は頻出の熟語です。

7 語い問題(適語補充)

6問の中では、5の medicine「薬」が一番難しかったでしょう。2は「異[外]国の」という意味になるので、different が最も適切です。いずれの問題も単語を正確なスペルで書くことが求められます。

2025 第2回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【数学】

出題内容は、式の計算（単項式と多項式の計算、式の利用）・連立方程式の解法・連立方程式の解法と応用です。

1 計算問題（連立方程式・式の値）

計算力の確認をしています。(1)・(2)はともに連立方程式です。連立方程式の基本的な計算技術以外に、

(1)はかっこの中の式を1文字で置き換え、(2)は $\frac{1}{x}$ と $\frac{1}{y}$ をそれぞれ1文字で置き換え、置き換えた文字の値を求めてから x 、 y の値を求めることができるかを確認しています。(3)・(4)はともに式の値を求める計算です。(3)は単項式の乗除により求値式を簡単にできるか、(4)は条件式を利用して一方の文字を消去できるかを確認しています。特に、単項式の乗除は約分後の集計作業でミスをしやすいので注意が必要です。計算力は数学力の基礎の一つです。本番で早く正確に計算できるように、日々、問題の解き方を理解するだけでなく、正しい答えを得るまで実際に自分で計算することが大切です。

2 小問集合（比例・円錐と球の表面積・連立方程式・反比例のグラフ）

(1)は比例の問題ですが、比例定数を求めようとすると数値が複雑になり面倒です。解説集では、 x が a 倍になれば y も a 倍になるという比例の性質を利用して求めています。(2)は、円錐の側面積を求めることができるか、球の表面積を求める公式を知っているかを試しました。(3)は連立方程式の定番的な問題ですが、このタイプの問題は計算量が多くミスをしやすいです。最後まで気を抜かずに1つひとつの計算を慎重におこなうことが必要です。(4)は、反比例のグラフと整数をからめた難問を出題しました。比例定数が大きいほど原点から離れたグラフになること、グラフ上にある格子点^{こうしてん}は比例定数 a の正の約数の個数に等しいこと、約数が奇数個ある自然数はある整数の2乗で表されることなど、多くのポイントがあります。

3 空間図形（正二十面体）

(1)は、正多面体の定義を知っているか、辺の本数を求めることができるかを見ました。(1つの面の周りにある辺の数) $\times$ (面の数) $\times \frac{1}{2}$ という求め方を確認しておきましょう。(2)と(3)は、正二十面体の頂点を切り落とした立体についての問題です。何角形が何個あるかがわからないといけません。また、正六角形は6個の正三角形を合わせた図形であることを知っているかも同時に確認しています。

4 連立方程式の利用

得点と人数に関する文章題を出題しました。まずは全体が「A 正解・B 正解」「A 正解・B 不正解」「A 不正解・B 正解」「A 不正解・B 不正解」の4種類に分類できることを理解しているか、そして、人数を図や表に整理できるかが鍵になります。(1)は、4種類の人数を文字を用いて表すことができるかの確認です。(2)は、4種類の結果について得点を計算し、平均点と全体の人数から方程式をつくったうえで、文字を消去する必要があります。これら一連の作業ができたかどうかを見ています。 x , y の2つの文字を用いて表す場合と、早めに文字を消去する場合、両方とも身につけられると応用が利くと思います。(3)は、直前に与えられた条件を利用して、(2)と同様に方程式をつくれれば解答に近づきます。

5 平面図形

対称移動させた図形と角度に関する問題です。(1)は、まず $\angle BOC = 60^\circ$ であることを導き、 60° の角をもつ二等辺三角形が正三角形であることを利用します。(3)は 30° の角をもつ二等辺三角形の面積を求める問題で、正三角形をつくり出す必要がある難問です。

6 整数をふくむ不定方程式

覆面算や虫食い算とよばれるパズルにちなんだ出題です。(1)は筆算をイメージするとわかりやすいです。 n の最高位の数は0ではないことと、 n の最高位が2以上であれば9倍すると6けたの数になってしまうことに気づけば $a = 1$ がわかります。一の位のかけ算を考えると e の値も判明します。(2)では、文字を用いて正しく表すことができるか、それを指示通りに代入・変形できるかを確認しています。(3)は様々な解法が考えられます。解説集では、(2)でつくった等式を利用し、式の変域や倍数の関係を利用して d の値を求めています。(1)・(3)とも、試行錯誤しながら、数字を決定したり少しずつ可能性をせばめたりしていくことが重要です。

2025 第2回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【国語】

二年生の夏休み期間までに身についた、漢字や文法などの基本的な事項を把握しているか、論説文や小説文などの文章を読み解く力が身についているかを確認する内容となっています。基本から応用の幅広いレベルの読解・記述・文法問題を出题しました。二学期以降の学習モチベーションを上げることに適切なテストになっています。

㊦ 漢字の読み書き

漢字の知識は、現代文読解の力と大きく関わる「国語の基礎力」の確認です。とっさに書きにくい漢字の書き取りと読み間違いやすい漢字の読みを出题しています(1)の「穫」は「護」・「獲」など、(2)の「税」は「悦」・「脱」などのような紛らわしい字に注意しましょう。(5)の「一房」、(8)の「滴」の訓読みの言葉も覚えておきましょう。

㊦ 論説文の読解……… 森岡正博『生命学をひらく』

哲学者である筆者が「無痛化社会」について述べた文章です。科学技術の発達した現代では、人はその技術を駆使して苦しみから逃げることに慣れてしまっています。しかし苦しみから逃れ、快適さや刺激を十分に経験できるようになると、本当のよろこびを感じられなくなり、常に満たされない思いを抱えながら生きることになる、と筆者は述べています。現代社会が抱える問題を、自分自身も関わるものとして考えてほしいと出题しました。

問二は本文のキーワードについて、この文章が何について述べているのか、根本的な理解度を測る問題として出题しています。**問三**は言葉の知識も必要な問題です。「米国」とは「アメリカ合衆国」を表す言葉であることを覚えておきましょう。**問四**は表現技法を問う問題です。解答以外の選択肢もどのような技法なのか、そして漢字でかけるようにしておきましょう。**問五・問九**は文脈をしっかりとどっていけば解けるでしょう。**問七**は内容をしっかり理解しているかどうか問われます。**問十**の記述問題は、本文の総合的な論旨が理解できているかを測っています。この問題に得点できていれば、読解力と記述力が身についているといえるでしょう。

☐ 小説文の読解…………… 太宰治「清貧譚」

昭和を代表する作家の一人である太宰治は『人間失格』・『斜陽』などの作品で知られていますが、中国や日本の古典を題材にした小品も多く残しています。文豪の意外な一面を垣間見ることができればと出題しました。中国の古典を題材にした本作は、菊をこよなく愛する主人公の男が、ある姉弟（実は菊の精であった）と出会うことによって、純粋に菊を愛するがゆえに無償で菊づくりに励むという自分の考え方が揺らいでいくという話です。芸術家が生活（金）のために作品を書くという態度は正しいのか、作者自身の葛藤が描かれていると指摘する人もいますが、主人公と姉とのロマンスも描かれ、お話として楽しめる作品です。やや長いお話ですので、あらすじや途中の説明、〔注〕なども参考にして流れをつかみましょう。慣用句などの語句の知識を確かめつつ丁寧に読み取り、会話なども手がかりにして登場人物の関係や心情をつかんでいきましょう。

問三のせりふの順番を問う問題は、場面や状況の流れを正確に理解しているかを測っています。**問十一**は主人公の心情をずっと追って理解し、結果どのようなことに至ったかが読み取れているかを測っています。

☐ 文法

品詞分類の問題です。それぞれの品詞がどのような役割を持っているのか、基本的な文法事項が身についているかを確認することがねらいです。④と⑥の「ない」の識別（形容詞か助動詞かを区別する）問題や⑤のような形容動詞かそうでないかを区別する問題は、紛らわしいですが頻出なので特に気をつけましょう。